

家 庭	
1	この教科のねらい
	・ 人の一生と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭、衣食住、消費や環境などに関する知識と技術を習得します。 ・ 主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力と実践的な態度を育てます。
2	科目の紹介と学習内容
	「家庭基礎」 ・ 家庭生活を営むために必要な衣食住、家族、保育、消費、環境などについて、人の一生と関連させて学びます。 ・ 主体的に家庭生活を創造し、現在および将来において自立した生活ができるよう、意思決定能力や問題解決能力を身に付けます。 ・ 授業を通して地域社会に参画し、生活文化を継承して、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ります。 「フードデザイン」 ・ 栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を習得します。 ・ 食生活の充実と向上を目指して、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けます。 「保育基礎」 ・ 保育の意義や方法、子供の発達や生活の特徴及び子供の福祉と文化などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けます。 ・ 子供を取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養います。 ・ 子供の健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養います。 「家庭探究」 ・ 家庭科の分野において興味のあるテーマを設定し、研究を行います。 ・ 専門的な知識・技術の深化を図り、問題解決能力や表現力を身に付けます。
3	授業の特色
	・ 実習を通して、実践的・体験的に知識や技術を習得していきます。 ・ ものづくりの楽しさや完成の喜びを感じられ、よりよく、より幸せに生きていく生活者を目指します。 ・ ホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動において、生きる力を養っていきます。
4	勉強方法
	・ 「よく見る、よく聴く、まねる」ことをしましょう。 ・ 準備や心構えをし、五感を働かせ、考え、手や体を動かしましょう。 ・ 興味関心を持って、真面目に一生懸命取り組むことが大切です。
5	評価の観点
	【知識・技能】 定期考査、作品 【思考・判断・表現】 発表内容、ワークシート・ノート記述内容、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況、授業態度、発表態度、実習態度、ノートの整理状況